

第5節 3日目：3月12日（土）：大分～別府&観光 晴れ

2022年3月12日（土）晴れ、北九州の旅の三日目は、日豊本線の大分駅から別府駅までの12.1kmに挑戦する。そして、その後、地獄めぐり観光で臨む。本日も当初の予定である別府発の7:56から1本早め7:28に変更して臨む。何としても、12時前に別府駅西口に到着したかったからである。



※いざ出発、別府駅



※別府駅

ホテルで朝食をとり、別府駅に向かう。本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

大分（7:45）～西大分（8:31）～東別府（10:22）～別府（11:08）

①大分駅には7時36分到着。この駅は2年振りで懐かしくなる。大分駅には似たような風景の南口と北口があり、2年前に宿泊したのは、東横インがある南口であることを思い出す。海岸線が北口にあり、太陽の方向を見て、別府方面を見極める。しかし、心配であったので、通行人の方に確認する。結果OKで安堵する。これまでのウォーキングで何度も逆の方向に進行した苦い体験を思い出

す。本日は太陽で判断ができたが、曇り空や雨天の場合には方向性を見極めるのが難しくなる故。



※大分駅北口、大分駅南口



※光西寺、西大分駅への路



※西大分駅



※西大分駅、柞原八幡宮

そのようなことで、5分位ロスタイムが生じる。大分駅北口を7時45分出発する。7時53分、真宗大谷派四極山光西寺前を通過。8時2分、別府14 km、宇佐59 km、北九州125 kmの道路標識を見て、再度方向性を誤っていないことに安堵する。8時18分、門司まで136 km地点に到達。8時31分、風格のある西大分駅に到着。駅舎界限には貨物車両が多々あった。この駅に備え付けのノートがあり、今回の歩きのメモをする。同時にカッシーチラシを置いて行く。



※別府まで11 km地点、大分ウォーキング会の皆様、白木歩道橋

②8時36分、柞原八幡宮の鳥居前で本日の安全を祈願する。8時47分、北九州122 km、宇佐57 km、別府11 kmの道路標識前を通過。線路に沿った右側を歩く。海岸線に沿った路筋には、ウォーキング同好会の数人が速足で別府方向に向かっていった。9時6分、白木歩道橋を渡り、海岸線の歩道に移る。この歩道はかつて別府毎日マラソンコースであったとのこと。海岸線から風光明媚な大分や別府湾が一望できる。猿で有名な高崎山も近くに見えて来る。9時12分、門司まで133 km地点に到達。9時30分、田ノ浦ビーチに入る。



※大分方面、別府方面を背後にして



※風光明媚な海岸線を歩く、遠くに高崎山

ここで、本日の大分ウォーキングの世話役の方と対面する。昨日、愛媛県からフェリーでやってこられたとのこと。年齢も私より数歳若いとのことであった。ここからウォーキング話を中心に東別府駅までご一緒させて頂く。毎年この時期に「大分駅から亀川駅までの営業キロ 18 kmを、8時半から 16時半までに往復する」とのことであった。そして、田ノ浦ビーチを出た先で末尾を担当する2人の世話役と対面する。この方にも最新のチラシを渡し、カッシー館をPRさせて頂く。3人とも早歩きでビックリした。私は、写真やメモしながら歩くので、何度かジョギングを余儀なくされた。約50分の短い時間ではあったが、楽しい道中であった。この場をお借りし御礼申し上げます。



※田ノ浦ビーチを歩く

9時50分、大分マリンパレス水族館「うみたまご」前を通過。10時10分、高崎山を通り過ぎて大分市から別府市となる。東別府駅手前で、大分ウォーキング会の世話役3名の方に別れを告げる。東別府駅には10時22分到着。道路から5m位階段を上った先にあった。この駅も西大分駅に引き続き歴史を感じる駅舎であった。



※正面に高崎山、水族館



※大分ウォーキング会の世話役の皆様、遠くに別府



※大分市から別府市、東別府駅



※東別府駅



東別府駅

③10時31分、65歩ある朝日橋（朝見川）を渡る。感動の余り、大学時代の友人朝日氏にこの橋をSNSで流す。10時38分、北九州115km、中津66km、宇佐49kmと記した道路標識前を通過。10時41分、門司まで127km地点を通過。別府タワーが見えて来る。商店街を歩き、別府駅には11時8分到着。大分ウォー

キング会の人に遭遇したお蔭で、予定より 30 分位早く到着したような気がする。
感謝の気持ちで一杯となる。後編（地獄めぐり）に続く！！



※朝日橋、遠くに西鉄イン、商店街



※別府駅

<地獄めぐり>

地獄めぐりは次のような行程での観光となる。



①別府駅西口バス停から海地獄前下車 (11:52)



②海地獄 (12:00)



③鬼石坊主地獄 (12:22)



④かまど地獄 (12:34)



⑤鬼山地獄 (13:04)



⑥白池地獄 (13:16)



⑦バスで血の池地獄下車 (途中 10 分位ウォーキング)



※白池地獄界隈のマップ、白池地獄から徒歩で

⑧血の池地獄 (13:58)



⑨龍巻地獄 (14:13)



⑩西鉄リゾートイン前で下車(14:50→15:30)



⑪ホテルで温泉に浸かった後、”きんたろう”で三顧の礼を尽くす。



第6節 4日目：3月13日（日）：杵築～宇佐 晴れ

2022年3月13日（日）晴れ、北九州の旅の四日目は、日豊本線の杵築駅から宇佐駅までの23.4kmに挑戦する。本日は宿が別府から中津になるので、リュックを背負ってのウォーキングとなる。初めて朝の温泉に浸かる。日曜日のため、2両編成の車両で数名の高校生しか見かけなかった。一昨日歩いたコースを確認しながら杵築駅に向かう。本日のコースの地図概略は、国道10号線と鉄道がほぼ並走しているので、苦労はしないと思ったが、実際には中山香駅近郊で、さにあらずであった。



※いざ出発、別府駅



※杵築駅

各駅舎の立ち寄り時刻は、下記の通り。

杵築 (7:58) ～中山香 (10:55) ～立石 (12:12) ～西屋敷 (14:00) ～宇佐 (14:55)

①杵築駅には7時55分到着。一昨日の反対の方向に向かう。8時7分、高速道路下を潜る。本日は八坂川を渡る場面が何度も登場する。8時15分、万歩計で189歩ある”いくわ橋”を渡る。8時22分、大左右(だいそう)バス停前(国東観光バス)を通過。8時25分、170歩ある大左右橋を渡る。8時40分、赤松交差点で国道10号線に合流する。この境界で暑くなったのでセーターを脱ぐ。8時53分、門司まで107km地点に到達。その先で犬からの挨拶を受ける。9時25分、暑くなったので、上着を脱ぎ、少し厚手のシャツ一枚となる。9時27分、上り下りが分離している鉄道下を潜り、八坂川に沿って歩く。9時40分、門司まで104km地点に到達。



※杵築駅界限、大左右橋、大左右バス停

10時2分、大井手橋南交差点先にある、万歩計で126歩ある大井手橋を渡る。その先に北九州90km、中津41km、宇佐24kmと記した道路標識前を通過。ここから中山香駅は近いと思ったが、ここから随分遠かった。10時18分、杵築市コ

コミュニティバス停高取を通過。その先に中山香駅への案内板を見つけたので、国道 10 号線から左折する。200m 位先に杵築市立山香病院が見える。川が遮り、この病院方向には進めず。ここから川と田圃の障害物があり、大きな迂回を余儀なくされる。



※国道 10 号線に合流、八坂川に沿って歩く、上下の JR 線を潜る



※大井手橋南交差点、宇佐まで 24 km、高取バス停



前方表示の交差点を左折、JR 線を跨ぐ



※JR線を横切り、大きく迂回し幹線道路に出る、八旗八幡神社

10時30分、JR線を跨ぎ左側となるが、鉄道に沿った路が見つからず、少しパニック状態となりかける。その時、運よく地元の人に中山香駅への道筋を聞く機会を得る。「少し歩いた先に鉄道に沿った幹線道路に出ます。道なり歩いた先に中山香駅があります」と教えて頂く。少し歩くと幹線道路にぶつかる。10時34分、八旗八幡神社があり、遅まきながら本日の安全を祈願する。10時41分、先程見かけた病院前を通過。この界限でも、間違った道筋に進んでいたの、地元の人々の助けを得てリカバリーできる。中山香駅には10時55分にやっと到着。営業キロ8.8kmに約3時間要する。



※杵築市立山香病院、中山香駅への路



※中山香駅

②11時3分、鉄道を横切り、JR線の右側となる。国道10号線に合流する。この交差点に中山香駅への案内板があった。この交差点で曲がって入れば、30分位ロスタイムを防止できたかも知れない。少し、後悔が残る。11時13分、門司まで99km地点に到達。11時23分、北九州85km、中津36km、宇佐18kmと記した道路標識前を通過。12時1分、田染（たしぶ）踏切を横切り、JR線の左側となる。12時12分、立石駅に到着。



※立石駅への路



※立石駅への路、立石駅



※立石駅



※立石駅

③12時23分、立石農協踏切を横切り、鉄道の右側となる。山道を上る。12時40分、国道10号線に合流する。12時45分、立石峠への案内板前を通過。鉄道は道路下に沿ってあった。12時48分、JR線を跨ぎ、鉄道の左側となる。12時50分、標高147mの立石峠を通過。ここから下り坂となる。12時54分、門司まで93km地点を通過。その先でJR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。13時10分、北九州79km。中津31km、宇佐14km地点に到達。13時26分、向野跨線橋を渡り、鉄道の左側となる。13時30分、故郷香川にある屋島や五剣山のような山が登場する。13時45分、門司まで90km地点に到達。西屋敷駅には14時到着。この駅は上り下りのホームが分離していた。



※立石峠、故郷の屋島のような山を背後にして



※西屋敷駅



※西屋敷駅

④14時10分、杵築市から宇佐市に入る。14時12分、前方から山が消える。14時21分、門司まで88km地点で、小倉方面に向けてソニックが通過して行く。14時30分、平坦の歩きを実感する。14時35分、北九州75km、中津26kmと記した道路標識前を通過する。宇佐駅には14時55分到着。



※西屋敷駅を後にして（故郷の屋島・五剣山のような山）



※宇佐駅への路



※宇佐駅



※宇佐駅、宇佐神宮

⑤到着して15分位、八幡社の総本山の宇佐神宮に参拝するか否か迷う。急遽、当初の予定を変更し、往復タクシーを活用し、宇佐神宮に参拝し、御朱印をもらうことにする。今から考えるといい英断であった。御朱印をもらった後、宇佐神宮で1時間位かけて参拝する。非常に有名で雅やかな神宮に参拝する機会が得られラッキーであった。



※宇佐神宮

⑥宇佐駅 16 時 51 分発の列車で中津駅に向かう。中津駅には 17 時 15 分到着。サンライズホテルで汗を流した後、ホテルからの紹介を受けた和風味処”鬼太郎”に出向き、本日の疲れを癒す。本日は、中山香駅でロスタイムが生じたが、想定外の宇佐神宮を参拝でき、充実した一日となった。



※宇佐駅、中津駅



※中津駅、サンライズホテル



和風味処”鬼太郎”で祝杯

第7節 5日目：3月14日（月）：宇佐～中津 晴れ

2022年3月14日（月）晴れ、北九州の旅の5日目は、日豊本線の宇佐駅から中津駅までの24.0kmに挑戦する。本日は天気予報では雨の降る恐れもあり、中津駅界隈のコンビニでビニール傘を買うか否か迷う。安全を期し、折りたたみ傘持参で代用する。もし途中で雨に遭遇しそうな場合、近くのコンビニに立ち寄って購入する方針で臨む。結果的に大成功。天や神のご加護もあり、曇りから薄曇りとなり、次第に穏やかな晴れマークとなる。



※いざ出発、宇佐駅



※宇佐駅界隈、門司から85km地点、寄藻川

昨日、列車からの風景を見ながら宇佐駅まで移動する。鉄道に沿った幹線道路は遠く、田圃道や川が鉄道傍に多々あった。地方の場合、改札口が鉄道のどちら側にあるのを掌握しておくことが重要。もし、反対の方向に到着した場合、300m位は迂回を余儀なくなるケースが多々あるからだ。そのようなことから、改札口の方角や大きな川がどの区間にあるかなどをメモして臨む。今回の旅を振り返り、本日の区間が最も難関なコースであった。

各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

宇佐（8:23）～豊前長洲（10:02）～柳ヶ浦（10:55）～豊前善光寺（12:16）～天津（13:36）～今津（14:23）～東中津（15:41）～中津（17:08）

①暫く歩いた先で国道10号線に合流する。8時37分、門司から85km地点に到達。8時40分、万歩計で93歩ある寄藻川を渡る。8時44分、豊前長洲方面への道路標識を見つけ、右折する。段々とJR線に沿った路筋となり安堵する。9時13分、踏切を横切り、鉄道の右側となる。この限界で住人に路を聞くが、最近引越してきたばかりで不案内とのことであった。後で考えるとこの踏切は失敗であった。ここから迷路に入り、ウォーキングの醍醐味を堪能する。9時16分、道路下を潜る。9時33分、ゲートボールを楽しむ広場に面した、松崎農村公園前を通過。その先に39歩ある赤い松崎橋を渡る。もうそろそろ豊前豊洲駅と思ひしや駅舎が全然見えてこない。ネットで検索したところ、とんでもない方向に進行していた。地元の人のお援でやっとリカバリーでき、豊前長洲駅に10時2分到着する。駅舎内には絵画を一杯展示していた。



※豊前長洲への道路標識、鉄道に沿って歩き、この踏切を渡る



※誤って進行（和間小学校）、松崎橋で誤り発覚

線路と路が完全に双曲線の状態であった。このような苦い出来事は、ウォーキングを始めた当初八高線での体験を思い出し懐かしくなった。営業キロ 4.8 km に 100 分位所要時間を要す。リカバリーする段階で、道路下を潜った場所（9 時 16 分）が登場する。この道路に沿って歩き、途中で左折するのが正解であった。反省また反省の瞬間であった。



※リカバリーへの路、豊前長洲駅



※豊前長洲駅



※豊前長洲駅、柳ヶ浦駅への路、駅館川

②10時16分、薄曇りから晴れマークとなり暑くなる。厚手のシャツを脱ぐ。くねくねした道筋を進む。10時31分、万歩計で356歩ある長洲小松橋（駅館川）を渡る。駅前が工事中の柳ヶ浦駅には10時56分到着。駅舎も工事のため、珍しく駅舎の看板がなかった。元北陸本線踏破の際の石動駅（いするぎ）駅を思い出した。駅員さんにその旨をお伺いする。工事のため、駅名の看板は待合室の奥に格納しているとのことであった。



※柳ヶ浦駅



※柳ヶ浦駅

③11時11分、鉄道の右側に沿って田圃道を歩く。11時35分、幹線道路に上がり鉄道を跨ぎ、再度田圃道に戻る。鉄道の左側となり、暫く鉄道に沿って歩く。11時38分、万歩計で84歩ある小金橋を渡る。11時43分、松月禅寺前を通過。11時55分、八幡小学校前を通過。その先で12時となり「恋は水色」のメロディーが流れて来る。12時12分、遅まきながら稲荷神社前で本日の安全を祈願する。やっとのことで豊前善光寺駅に12時16分到着する。



※田圃道（農道）を淡々と歩く、跨線橋に”国鉄日豊本線”とあり、跨線橋を下りる



※ソニックと対面、松月禅寺界限、八幡小学校



※豊前善光寺駅



※豊前善光寺駅

④12時51分、くねくねした田圃道を歩く。途中、小高い丘があり、田圃道を100m位迂回する、U字型に歩くことを余儀なくされる。13時、川岸ぶつかり橋の袂まで土手歩き（万歩計で243歩）を余儀なくされる。13時10分、万歩計で131歩ある庄川橋を渡る。くねくねした田圃道を歩き、天津駅には13時36分到着する。



※田圃道を歩く、川岸にぶつかる、庄川橋



※天津駅への路、天津駅



※天津駅

⑤鉄道の左側の田圃道を歩く。14時8分、またしても前方に川が立ち塞がる。川を渡る橋は見当たらず。ここで、朝の鉄道と駅舎改札口の関係を思い出し、鉄道を横切った先の橋を渡ることにする。結果、大正解であった。14時11分、鉄道下を潜る。14時18分、万歩計で68歩ある鍋島橋（五十石川）を渡る。橋を渡った先を鉄道に沿って歩くと、今津駅（14時23分）があった。



※またしても川にぶつかる、五十石川を渡る



※今津駅



※今津駅、広瀬橋

⑥14時35分、98歩ある広瀬橋を渡る。鉄道右側を線路に沿って淡々と歩く。この路の先に東中津駅があると思ったらNGであった。朝観察した通り、駅舎改札口は鉄道の左にあることを思い出し、どこかで踏切を渡る必要があった。15時13分、淡々と歩いた路が終了し、鉄道を横切ってJR線の左側となる。くねくねと歩いた先にめぐみ幼稚園（15時23分）がある。幼稚園の前におられた方に、東中津駅への道筋をお伺いする。「直進した先に東中津駅がある」とのことであった。しかし、途中、直進がどちらなのかわからないような交差点があり、引き返す場面にも遭遇する。東中津駅には15時41分到着する。



※鉄道の右側を淡々と歩く、行き止まりとなり踏切を渡る



※めぐみ幼稚園、東中津駅への路



※東中津駅

⑦15時52分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。15時56分、県道23号線（中津高田線）に合流する。15時58分、田尻バス停（大交北部バス）前を通過。16時18分、中津自動車学校があった。16時34分、91歩ある自見川を渡る。16時55分、中津市牛神とある標識前を通過。中津駅には17時8分到着。



※中津自動車学校、中津駅への路



※中津駅

⑧朝、中津駅の駅長に頂いた備え付けの観光案内を見ながら、中津城公園（17時36分）と福澤諭吉旧居（17時55分）を観光する。ホテルには18時25分到着。汗を流した後、本日は鬼太郎が休みのため、休肝日とし、CoCo 壺番屋で夕食とする。路には迷ったが、面白いコースを堪能でき、また観光もでき充実した一日であった。



※中津城公園



※福澤諭吉旧居